

平成27年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分： 図書館活動における功績
2. 対象者： 東京大学法学部研究室図書室図書整理係 石田唯
3. 件名： 『図書館ひっこしらくらくキット』
～ 配架計画支援アプリ「連番くん」と書架棚見出し出力器「見出しちゃん」
の作成による図書館の引っ越しに伴う作業の効率化 ～
4. 結果： 採択
5. 理由： 本件は、東京大学法学部研究室図書室において、耐震改修工事に伴う引っ越しをおこなうために、『図書館ひっこしらくらくキット』を作成し、図書の移動作業及び再配架作業の軽減を図っているものである。
『図書館ひっこしらくらくキット』は、配架計画支援アプリ「連番くん」と書架棚見出し出力器「見出しちゃん」の2つで構成されている。
「連番くん」は、現況書架の連数・棚数・棚幅を入力することで簡単に書架の平面図・立面図が作成でき、図書の移動作業に必要なラベルも正確に出力できることで、引っ越しにかかる労力を大幅に軽減し、業務の効率化として成果をあげている。またこのアプリでは、全体図を描画しながら、利用しやすい図書の配置や将来的な図書の増加を見越した配架を計画することが可能となっており、これらは利用者及び図書館に多大な便宜をもたらすものである。また「見出しちゃん」により、棚ごとの配架図書を案内する見出しが簡単に作成できることも、省力化となっている。
『図書館ひっこしらくらくキット』は、すでに9大学の図書館の引っ越し作業に提供され、実績をあげており、全国の図書館に有益な成果をもたらしていることも評価できる。
多くの図書館が直面する煩雑な引っ越しにとって、効率的な業務の推進となっており、「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第1号の「業務の処理等に関する改善において顕著な成果が認められ」及び第2号の「有効な手段となるツールの作成により、利用者に多大の便宜をもたらす」に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。